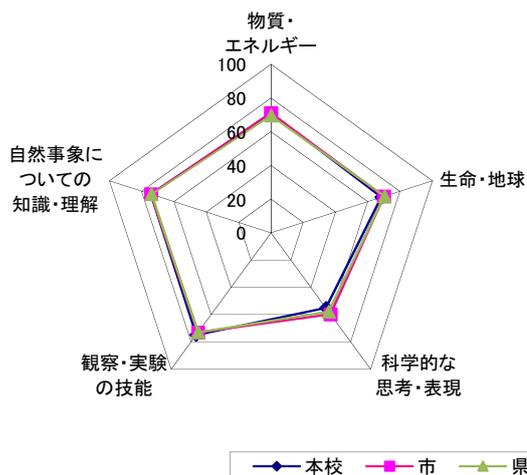


# 宇都宮市立宝木小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	71.1	71.1	69.6
	生命・地球	68.4	70.0	70.3
観点	科学的な思考・表現	55.1	59.8	57.8
	観察・実験の技能	74.9	73.2	73.0
	自然事象についての知識・理解	74.3	74.3	74.0



## ★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>○「電気の通り道」の豆電球の明かりのつけ方を問う問題は、正答率が90.8%とよく理解できており、県平均よりも12.9ポイント上回っている。</p> <p>○「電気の通り道」の導線の安全なつなぎ方を問う問題は、正答率が県平均よりも18.4ポイント上回っている。</p> <p>●「ものと重さ」の違う姿勢で体重計に乗っても、重さは変わらないかを問う知識の問題は、正答率が83.2%と高めではあるが、県平均と比べて5.8ポイント低い。</p> <p>●「じしゃくのせいしつ」の磁石の力は磁石につかない物があってもはたらくかを問う思考の問題については、正答率が県平均と比べて5.9ポイント低い。</p>	<p>・実験や観察を通して、知識の定着を図る。また、実際に体験する活動を取り入れ、日常生活と関連付けて理解させていく。</p> <p>・磁石だけではなく、全体的に知識を活用しながら考える問題が苦手な傾向が見られるので、基礎的な知識の定着を図るとともに、結果をもとに考察する活動を行う際に、グループ活動を取り入れ、協働的な学びの中で思考力を高めていく。</p>
生命・地球	<p>○「身近なしぜんのかんさつ」の昆虫の生活場所を問う問題では、正答率が県平均よりも12.2ポイント上回っている。</p> <p>○「太陽と地面のようす」の方位磁針の正しい使い方を問う問題では、正答率が県平均よりも5.3ポイント上回っている。</p> <p>●「こん虫と植物」の昆虫の成虫のあしの様子を作図する問題では、正答率が県平均よりも6.8ポイント低い。</p> <p>●「身近なしぜんのかんさつ」の昆虫が特定の場所にいる理由を説明する思考の問題は、正答率が34.4%と低く、県平均と比べて15.2ポイント下回っている。</p> <p>●「太陽と地面のようす」の一日の太陽の動きを問う知識の問題は、正答率が33.6%と低く、県平均と比べて12.6ポイント下回っている。</p> <p>●「太陽と地面のようす」の温度計の正しい読み方を問う技能の問題も、正答率が55.6%と低く、県平均と比べて10.0ポイント下回っている。</p>	<p>・昆虫の体のつくりやすみかななどについては課題が見られた。観察する機会を多く設け、理解したことを図や言葉で表現する活動も行いながら、知識の定着を図る。</p> <p>・1日の太陽の動きが理解できるように、生活全体で太陽の動きについて興味をもつような問いや観察する場をつくっていく。</p> <p>・温度計の読み方が定着していないので、授業の中で再度指導するとともに、教室にある温度計で室温を確認するなどして、温度計に慣れさせていく。</p>